

マタイの福音書 7章 20-29 節

八の至福—約束されている祝福 (結論)

イエス様の美しさ、賢く建てる人

はじめに

簡単な復習ですが、八の至福と山上の垂訓を通してイエス様の美しさを見て来ました。そして、この教えの目的は、唯一完全に実現出来るイエス様が、ご自分の信者一人一人の中でこれを実現して下さる事により、その美しさを表して下さることです。神様の国とその義を第一に求めるクリスチャンは必ずイエス様が約束されている祝福のすべてを体験します。

今日はその結論の部分と一緒に見たいと思います。

マタイ 7:20-29.

7:20 こういうわけで、あなたがたは、実によって彼らを見分けることができるのです。

7:21 わたしに向かって、『主よ、主よ』と言う者がみな天の御国に入るのではなく、天におられるわたしの父のみこころを行う者が入るのです。

7:22 その日には、大ぜいの者がわたしに言うでしょう。『主よ、主よ。私たちはあなたの名によって預言をし、あなたの名によって悪霊を追い出し、あなたの名によって奇蹟をたくさん行ったではありませんか。』

7:23 しかし、その時、わたしは彼らにこう宣告します。『わたしはあなたがたを全然知らない。不法をなす者ども。わたしから離れて行け。』

7:24 だから、わたしのこれらのことばを聞いてそれを行う者はみな、岩の上に自分の家を建てた賢い人に比べることができます。

7:25 雨が降って洪水が押し寄せ、風が吹いてその家に打ちつけたが、それでも倒れませんでした。岩の上に建てられていたからです。

7:26 また、わたしのこれらのことばを聞いてそれを行わない者はみな、砂の上に自分の家を建てた愚かな人に比べることができます。

7:27 雨が降って洪水が押し寄せ、風が吹いてその家に打ちつけると、倒れてしまいました。しかもそれはひどい倒れ方でした。」

7:28 イエスがこれらのことばを語り終わられると、群衆はその教えに驚いた。

7:29 というのは、イエスが、律法学者たちのようにではなく、権威ある者のように教えられたからである。

1. 良い実の大切さ

よい実がなぜ重要なのか、それは見分ける為と勝利をする為です。

マタイ 7:20 「こういうわけで、あなたがたは、実によって彼らを見分けることができるのです。」
信者はイエス様の教えに従って行けば行く程、心が聖霊によって作り変えられて聖霊の実としてイエス様の美しさを表す事が出来るようになります。このイエス様の話の文脈と流れを見れば、誰も自分の力だけでこの実を作れないので、これでイエス様の信者と未信者との区別が一番はっきりつくこととなります。別の聖書箇所ではイエス様は自分がまことのぶどうの木で、信者はその枝であり、実を結ぶ為には私と繋がっていなければ、何一つ出来ません、と教えています。

ヨハネ 15:5 「わたしはぶどうの木で、あなたがたは枝です。人がわたしにとどまり、わたしもその人の中にとどまっているなら、そういう人は多くの実を結びます。わたしを離れては、あなたがたは何もすることができないからです。」

ヨハネ15:8 「あなたがたが多くの実を結び、わたしの弟子となることによって、わたしの父は栄光をお受けになるのです。」

それで繰り返して言っていますが、八の至福の教えは天国に行ける条件として教えられているのではなく、イエスの弟子の生き方として、神様の栄光になる生き方を教えられています。聖書が教えている天国に行ける条件は、イエス様を主として信じて、口でそれを告白するなら救われる、ということで、何も厳しい事はありません。でも、弟子として豊かな実を結ぶこと、神様の国と神の栄光に用いられる器として生きるという条件は大変厳しいものです。自分の家族や自分の命よりも、私を愛していなければ、私の弟子になれません、とイエスは教えています。特に八の至福の後半に書いてあるように、哀れみ深い人として、他人を裁かず、心の清い人として自分の全てを委ね、日常の様々な出来事の中で神の御手をはっきり見える人、そして、平和を作る人としてどんな人でも赦せると同時に自分を迫害する人の為に祝福する祈りが出来る人、そんな生き方です。これよりもっと厳しい条件はどこにもありません。しかし、その人々には素晴らしい約束が与えられています。

ここでイエス様の与えて下さっている約束は、全ての「人生の嵐のような困難」を乗り越える勝利を与えて下さるということです。

マタイ7:24 「だから、わたしのこれらのことばを聞いてそれを行なう者はみな、岩の上に自分の家を建てた賢い人に比べることができます。」

聞くだけで行わない人ではなくて、それを聞いて行う人なら、どんな嵐でも乗り越える人にしてあげよう、と言っておられます。

マタイ7:25 「雨が降って洪水が押し寄せ、風が吹いてその家に打ちつけたが、それでも倒れませんでした。岩の上に建てられていたからです。」

7:27 雨が降って洪水が押し寄せ、風が吹いてその家に打ちつけると、倒れてしまいました。しかもそれはひどい倒れ方でした。」

両方の人は同じ人生の嵐を体験しますから、イエス様の教えは御利益宗教とは全然違います。信じたら、全ての困難を上手く避けて行ける人生になるのではなく、全ての困難の中で圧倒的な勝利者として、私はあなたを守って勝利の中で天国まで導きますよ、と言う約束です。しかも、その困難によってあなたを増々成長させ、人の為に役に立つ人間として作り変えてあげます、ということです。ここで終わっても十分だと思いますが、この箇所ではイエス様は警告を与えて下さっていますから、2つめのポイントに進みましょう。

2. 偽物の指導者と信者

マタイ7:15 「にせ預言者たちに気をつけなさい。彼らは羊のなりをしてやって来るが、うちは貪欲な狼です。」

そして、

7:21 「わたしに向かって、『主よ、主よ。』と言う者がみな天の御国にはいるのではなく、天におられるわたしの父のみこころを行なう者がはいるのです。

7:22 その日には、大ぜいの者がわたしに言うでしょう。『主よ、主よ。私たちはあなたの名によって預言をし、あなたの名によって悪霊を追い出し、あなたの名によって奇蹟をたくさん行なったではありませんか。』

恐ろしい事ですが、イエス様と繋がっていなくても、霊的な賜物を使えるため多くの人は騙されます。偽物の預言者と信者は大勢いると書いてあるから、気を付けなければいけません。ですが、これを聞く時、誤解しないで頂きたい事があります。これは教会の中で本物の信者を見分ける為に教えられています、人を裁く許可を与える為ではありません。イエス様はこの7章1-5節で既に人を裁いてはいけませんとはっきり教えています。その人の実によって偽物の信者として明らかになっているなら、その人の言う事を聞かないように、そして絶対に従わないように気を付けなさいと言う事です。納得出来なくてそれでも人を裁きたいなら、次のイエス様の麦と毒麦の例え話を聞いて下さい。夜に敵がこっそりと毒麦をいい麦の畑に蒔いてしまった話です。

マタイ13:24-30ですが、長いので一部だけ読みましょう。

13:27 「それで、その家の主人のしもべたちが来て言った。『ご主人。畑には良い麦を蒔かれたのではありませんか。どうして毒麦が出たのでしょうか。』

その主人の答えは30節にあります。

13:30 「だから、収穫まで、両方とも育つままにしておきなさい。収穫の時期になったら、私は刈る人たちに、まず、毒麦を集め、焼くために束にしなさい。麦のほうは、集めて私の倉に納めなさい、と言いましょ。』

やはり、私達は教会の中でも、偽物の信者を取り除く事は許されていません。それをしようとすれば、本物の信者にも傷を付けたりするから、止めなさいというのがイエス様の答えです。もちろん、誰かが明らかに信者に迷惑をかけたり、危害を加えるような人なら出入り禁止にするしかない場合もあります。

山上の垂訓の結論の箇所に戻りましょう。まだまだ、興味深い所があります。

マタイ7:22 「その日には、大ぜいの者がわたしに言うでしょう。『主よ、主よ。私たちはあなたの名によって預言をし、あなたの名によって悪霊を追い出し、あなたの名によって奇蹟をたくさん行なったではありませんか。』

7:23 しかし、その時、わたしは彼らにこう宣告します。『わたしはあなたがたを全然知らない。不法をなす者ども。わたしから離れて行け。』

イエス様の言葉の中でこれよりもっと恐ろしい言葉はないと思います。イエス様の名前で超自然的な働きをして来た人でも、『わたしはあなたがたを全然知らない。不法をなす者ども。わたしから離れて行け。』と言われるのです。霊的な賜物は本物の信者の証拠ではありません。唯一の証拠は聖霊の実です。

これはキリスト教と関係ない宗教ではなくて、キリスト教の偽物として名ばかりのクリスチャンは大勢いるので、偽物の教会と偽物の教団も実際にあります。具体的な名前を言う必要はありませんが、一番典型的な偽物のキリスト教は聖書を教えるよりも伝統や歴史を一番大切にする事によって結果として明らかに聖書に反するようなこと、偶像崇拜でも行っている教会です。しかも、常に悪霊の追い出しと、奇跡や不思議な超自然的な現象を求めて行っている教会です。

これは何も新しい事ではなくて、イエス様がこの地上におられた2000年程前でも、イエス様はユダヤ教の指導者達にはっきり言いました。あなた方は自分の伝統を守る為に神の言葉（聖書）を無意味にしています、と。だから、神の言葉の真実を無意味にしまうのは伝統に基づいている宗教です。そこには神様の命は全くないし、形式だけの宗教です。もちろん、世界中の宗教が一番大切にしてるのは伝統ですが、本物は神様の言葉である聖書を第一にしている教会です。私達は宗教改革を起こしたマルティン・ルターと同じで、聖書のみ（Sola Scriptura）の原点に戻って聖書だけを教えて、聖書だけに従います。ですから、どんなに偉い教会の指導者でも、その人の言う事が聖書と一致していないと思うなら、従わないで下さい。そして超自然的な奇跡によって惑わされない

ように気をつけましょう。もちろん、本物の神様の超自然的な働きもありますが、それを第一に求めてしまうなら、簡単に悪霊にだまされてしまいます。イエス様と結ばれていなくても霊的な賜物を行うことができますがイエス様と結ばれていなかったら、聖霊の実を結ぶ事が出来ません。その実は唯一のイエス様の命の証拠です。

ガラテヤ5:22「しかし、御霊の実は、愛、喜び、平安、寛容、親切、善意、誠実、5:23 柔和、自制です。このようなものを禁ずる律法はありません。」

この教会に初めて来た時、この講壇に掛かっている物を見て嬉しかったです。ここに聖霊の実が全部書いてあります。これが一番大事な物でこれが本物のイエス様の信者と偽物の信者の唯一の見分け方です。

マタイ7:20「こういうわけで、あなたがたは、実によって彼らを見分けることができるのです」。

3. イエス様の権威

マタイ7:28「イエスがこれらのことばを語り終えられると、群衆はその教えに驚いた。7:29 というのは、イエスが、律法学者たちのようにではなく、権威ある者のように教えられたからである。」

権威と言う言葉はピンと来ないかも知れませんが、力と訳す事も出来ます。この八の至福と山上の垂訓と呼ばれている聖書の箇所ではイエス様は神の国について教えています。一番目から、最後の八番目の祝福も神の国はその人のものですよと云っています。イエス様の神の国の教えの素晴らしさに群衆は驚いたと書いてあります。本来その事を教える立場と資格を持っている立法学者達の教えよりも、はるかに超える素晴らしい教えです。

イエス様は33年間のこの地上での生涯で、そのような学歴も社会的な地位も何もなかったのに、イエス様の神の国の教えを聞く人たちはヨハネ7:46で「あの人が話すように話した人は、いまだかつてありません。」と言いました。それから2000年経っている今でも、それはその通りです。これからも、ずっとそれは変わらず、唯一の人間になった生ける神のイエス様の言葉そのままです。分かりやすく言うと、本で読んだこととか、人から聞いたことではなくて直接父なる神様から、全部を言われてそのまま教えて下さっているのです。それを聞いて従うなら、神様の命と神様の全能の力がその人の中で働いて下さり、イエス様の教えがすべて真実として自分の体験の内に証明されるようにしてくださいます。イエス様に対して100%の確信を持つようになります。

イエス様自身が自分の権威について話す箇所を見ましょう。

マタイ28:18「イエスは近づいて来て、彼らにこう言われた。「わたしには天においても、地においても、いっさいの権威が与えられています。」

28:19 それゆえ、あなたがたは行って、あらゆる国の人々を弟子としなさい。そして、父、子、聖霊の御名によってバプテスマを受け、

28:20 また、わたしがあなたがたに命じておいたすべてのことを守るように、彼らを教えなさい。見よ。わたしは、世の終わりまで、いつも、あなたがたとともにいます。」

これはイエス様の復活の後で天国に引き上げられる直前に自分の弟子達に最後に語った言葉です。聖書学者達の中で大宣教命令と呼ばれている言葉ですが、イエス様の信者としてイエス様の力はどんなに凄いかを体験で知りたいなら、一番確実な方法はこの命令に従ってイエス様の働きに参加する事です。イエス様の自分の権威についての言葉とその働きに参加する事が直接つながっています。「それゆえ、あらゆる国の人を弟子にしなさい。」弟子作りの働きは伝道するだけではないから、色々な形で参加することが出来ます。全ての信者は貢献出来るし、イエス様はこの言葉をもって全

ての力を使って一緒に働いてくださる事を約束しています。イエス様の働きに参加したら、自分の体験でその力と約束の真実を更に証明する事が出来ます。

まとめ。

先週に言いましたが、イエス様の働きに参加すれば、必ず抵抗を体験します。それで、イエス様はここで何も恐れる必要はありません。私は天においても地においても全ての力を使って世の終わりまで一緒にあなたがたと共にいるだけではなくて、あなたがたの為にその力を使ってあなたがたと共に働きます、と約束して下さっています。もちろん、すべてはイエス様の働きの為に祈る事から始まります。すべての信者はイエス様の働きの為に祈る事から始まり、そのうちにその他にも自分が参加出来る所も見えて来るでしょう。